

リベンジマッチ

「じいちゃん、もう一局！」。

9歳の息子は、今日も父と将棋に夢中だ。

先週、俺に負けたあと、泣きながら弟子入りしたとか。

毎日、父の部屋へこっそり行っっては、秘密の特訓を重ねているらしい。

父の指導はスパルタで、息子に耐えられるか心配だったが、

母にそれとなく様子を聞いたら、

「あんたに教えてた時とは大違いよ」と笑っていた。

ある日、息子から果たし状が届いたときは、思わず吹き出した。

きつと、父の入れ知恵だろう。そして迎えた、リベンジマッチ。

息子の戦法は予想通り、父直伝の穴熊だ。

しかし甘い。親の壁は、そう簡単に越えさせはしない。

「参りました」。息子は意外にも、しっかり負けを認めたが、

しばらくじっと盤を見つめ、涙をこらえて出て行った。

どうやら、父の教えは将棋の指し方だけではないらしい。

ふたりの師弟関係は、まだしばらく続きそうだ。

家族を思う、そのそばに。

ヘーベルハウスの二世帯住宅

考えよう。答はある。

ヘーベルハウス